

令和2年度大阪府立吹田東高等学校

第3回学校運営協議会

日時：令和3年1月18日（月）

場所：大阪府立吹田東高等学校 会議室

・委員	浦田 太	吹田市立千里丘中学校 校長
	藤浦 雅彦	吹田東高等学校 後援会会長
	城下 英行	関西大学社会安全学部准教授
	柏渕 眞理子	東山田青少年対策委員会委員長
	古川 益美	吹田東高等学校 PTA会長
	竹岡 富美男	さくら北浜法律事務所 弁護士

校長	東 知佐子	吹田東高等学校 校長
事務局	井川 紀代子	吹田東高等学校 教頭
	芝野 雅人	吹田東高等学校 事務長
	村上 明弘	吹田東高等学校 首席
	山室 裕	吹田東高等学校 首席

◆開会挨拶

「大阪府立吹田東高等学校 校長 東 知佐子」

◆議 事

○報告事項

(1) 授業アンケートについて 《資料①》

【結果報告】

(東校長より資料説明)

- ・第2回授業アンケートを令和2年12月25日に実施。
- ・マークシート方式で第1回と同じ質問内容。
- ・結果は記述も含めて担当者に返す。
- ・昨年は数値が高かったが、今年度はさらに大きく上回った。
- ・例年と同じ傾向で2回目は1回目よりやや数値が下がっている。
- ・昨年よりも数値が高いが、休校期間が長くそれを補うために授業を工夫したためでは。
- ・特に重視している8と9の質問項目においても数値が高かった。
- ・「生徒の取組1・2」の自己評価は1回目に比べて下がっているため、取組を継続させることも課題。
- ・実技科目の方が高評価が出やすい。
- ・今年度の授業改善活動として、「授業観察シート」の提出又は研究討議への参加を義務付けた。
- ・「クリッカー」の導入や「G Suite For Education」を使用した授業の研修を行い、活用に努めた。

Q.委員 今年度は臨時休業などでの状況の中、評価が高いのはなぜか。

A. 学年によってあまり差がなく、1回目では3年生が一番いい結果だった。期間が短い中で理解度を定着させようとして取り組んだことも考えられる。また、長い休校期間があり授業が受けられるという事から例年と少し土台が違うことも考えられる。

(2) 学校教育自己診断について 《資料②》

【結果報告】

(村上首席より資料説明)

- ・ 昨年は少し質問項目を変更したが、今年は昨年と同じ。
- ・ 全体的な傾向は例年と同じで、昨年は多くの項目で一昨年より肯定的回答の値が増加したが、今年度は昨年よりほとんどの項目で昨年より増加している。
- ・ 「吹田東に進学して(させて)よかった」の肯定的回答は生徒・保護者共に85%を越えている。
- ・ 今年度は感染症対策のため国際交流事業や地域連携活動が中止になったため、その項目での数値は下がっている。
- ・ 進路指導に関する項目は非常に高い。
- ・ 生徒指導に関する項目は年々増加しているが、指導が定着してきたと思われる。
- ・ 施設・設備面では、保護者の数値は非常に高く、生徒は新校舎にも関わらず少し低い。
- ・ 「Web ページを見るか」の肯定的回答は、保護者・生徒共に非常に低い。今年度 Web ページを見やすく改善したが、情報提供はほとんど携帯メールで行っている。そちらの保護者の肯定的回答は非常に高かった。今後 Web ページでの情報提供も有効的に活用できるように工夫していきたい。
- ・ 回収率は生徒が全員で保護者は約96%。(昨年と同じ)

Q.委員 学校の先生の講習の満足度が高いが、S 講座の満足度が低いのが気になる。

「黒板が低く見えにくい、プロジェクターが壊れている。」を改善できればと思う。

A. 質問が「S 講座に参加した方」になっているが、1～3年生で今までに受講した人が答えているためこのような結果になったと思われる。次回からは「今年度 S 講座に参加」に変更する。

A. S 講座については改善されており、1年生の出席率は9割で昨年までより増えている。

A. 黒板は高さを変えることはできないため、教員に下の方は書かないように工夫をお願いしている。

A. 廊下の向かい側には順次ブラインドをつけていっている。

プロジェクターは予算もあるので、破損している物や古い物から買い替えていくように進めていく。

Q.委員 電子黒板の活用方法によっては板書の時間が短縮でき、授業のやり方も変わっていくのではと思うのでしっかりと研究してほしい。

A. また、生徒に一人一台タブレットが支給されるとさらに授業の効率化が図られると思う。

(3) 令和2年度学校経営計画の達成状況について 《資料③》

(校長より資料の達成状況の説明)

委員 青葉丘セミナーやS 講座などの取組が結果に繋がってほしい。

Q.委員 教員の残業時間について、表れていない(サービス残業)ものはないのか。

A. 今までは持ち帰っているものや、校外の部活動等については統計の数値化されなかったが、1月から試行で、校外で行われたものも自分で入力するようになった。

委員 超過勤務の問題等、働き方改革を進めていってほしい。

○協議事項

(1) 令和3年度学校経営計画について 《資料④》

(校長より資料の学校経営計画及び学校評価の説明)

- ・ 「めざす学校像」については令和元年度より引き続き同じで進めていく。
- ・ 「中期的目標」については、12月に全教員で「どのような生徒を育てたいか」という議論を行い、「主体的に考え行動する力を育てたい」という意見が多く出できたので、それを取り入れた。

- 委員 地域では以前から吹田東高校の生徒はよく挨拶する、自転車のマナーが良いと評判だが、最近少し薄れてきているように思われる。
- 長野県では以前より挨拶運動が盛んに行われている。また、横断歩道で車が止まると「ありがとう」とお礼を言うため、車が止まってくれる割合が9割と全国でも一番高い。
- 今後も吹田東高校で挨拶を広げていってほしい。
- A. 積極的に挨拶が行えるような取り組みを行っていききたい。
- 委員 SDGsについて、ぜひ取り組んでほしい。
- 委員 挨拶について、教員からもっと積極的に挨拶することによって普段あまり挨拶をしない生徒もするようになると思う。また、生徒会の役員にもどのようにすれば生徒がもっと挨拶するようになるかを問いかけてもいいのでは。
- 委員 民法改正で成人年齢を引き下げることになるが、そういった中で吹田東高校の「主体的に考え行動する力を育てる」という教育方針は素晴らしいことだと思う。ただ、どのように身に着けさせるかは非常に難しいと思う。
- そういった中で、SDGsの理念を生徒に理解させて具体化するのには非常に難しく、刺激を与える程度にとどまってしまうがちになる。教員の負担が大きくなると思うが、次年度の教育の課題として考えて欲しい。
- A. 「成人年齢引き下げ」のことについては、総合的な探究の時間を中心に必要性を議論しているところである。
- 委員 中期的目標の中で大学進学について具体的な数値が示されているが、生徒が多様な進路を切り開くことを考えると、大学進学の数値については評価指標の方で示して、中期的目標では進路満足度でとどめてはどうか。
- A. 数値については令和元年まで中期的目標に示されていたので今回載せたが、検討する。